

令和4年度優良実践発表校 一覧表

	学校名	校長名	児童数 生徒数	取組内容等
1	井原市立 県主小学校	谷 扶美恵 (たに ふみえ)	44	<p><u>地域課題解決の取組を通じた児童の主体性・行動力・表現力の育成</u></p> <p>小規模校のため、大勢の前で自分の意見を言うことに苦手意識がある児童が多かった。また、指示待ちの児童が多い点も課題であった。</p> <p>このため、全ての授業で子どもたちの願いを出発点とした単元構想を全職員で心がけた。特に、国語科で身に付けた力を活用した総合的な学習の時間「かかしプロジェクト」では、地域住民の協力を得ながら、「県主のよさをたくさんの人に伝え、広めたい」という児童の願いの実現に取り組んだ。</p> <p>こうした取組の結果、地域のために何ができるかを考えて粘り強く取り組む力や、議論してまとめた意見や疑問を言葉で伝える表現力の向上に繋がった。</p>
2	総社市立 常盤小学校	室山 和久 (むろやま かずひさ)	801	<p><u>STAGE3レベルのICT活用による授業改善</u></p> <p>学校での生活満足度の低下や不登校・不登校傾向の児童の存在等を踏まえ、学校を児童にとって魅力あるものに変える必要があった。</p> <p>このため、「授業力・教師の人間力アップによる魅力ある学校づくり」を目指し、1人1台端末を活用した授業研究や教員研修を実施するとともに、「STAGE3」（探究的な学習と主体的なICT活用を実現する）の授業実践に全学年で取り組んだ。</p> <p>こうした取組の結果、「パソコンを使った授業で力を伸ばすことができた」と感じる児童や「自分の授業力が向上した」と感じる教員がいずれも8割を超えるなど、授業改善に成果を上げている。</p>
3	浅口市立 六条院小学校	三谷 貞女 (みたに さだめ)	320	<p><u>協働して取り組む学力向上の工夫</u></p> <p>生徒指導上課題のある児童や個別の支援を要する児童が少なくない状況で、基礎学力に個人差があり、書く・話すなどの表現力にも課題が見られた。</p> <p>そこで教科担任制を基盤とし、落ち着いた学習環境や学習規律の徹底、「誤答を大切に授業づくり」などの共通理解や外部講師を招聘し、積極的に授業公開を行うなど、全教員が協働して授業改善に取り組む体制を整えた。また、基礎学力の定着に向けて、授業と家庭学習をつなぐ自主学習を推奨したり、放課後学習サポート事業を活用して、組織的に補充学習に取り組む体制をつくったりした。そこでは、クロームブックを活用し、個別最適な学び方で児童が主体的に学習できるような工夫をした。</p> <p>こうした取組の結果、全国及び県学力・学習状況調査結果の上昇や不登校児童の減少につながった。</p>
4	矢掛町立 小田小学校	徳山 聡子 (とくやま さとこ)	90	<p><u>地域と連携した児童の健全育成</u></p> <p>校内の分掌を知(確かな学力の育成)・徳(豊かな心の育成)・体(健やかな体の育成)の三部に分け、それぞれの部にリーダーを置き、分掌上主に関わる職員でチームを組織している。それぞれの部が学校経営計画書に沿いながら、目指す児童像の実現に向けて具体的な目標や手立て・指標を記した学校評価書を作成し、積極的な取組を推進すると共に、学校運営協議会での報告・協議の会を定期的にもつことにより、地域住民や有識者からの協力や具体的なアドバイスを受けることができ、課題となっていた学力面や自己有用感の向上等の成果が得られている。また、地域ボランティアの力を借りながら、体験型の「ふるさと学習」を行うことで、地域と一体となって児童の健全育成を推進している。</p>
5	勝央町立 勝間田小学校	松永 匡人 (まつなが まさと)	430	<p><u>非認知能力育成による落ち着いた学校づくり</u></p> <p>学級や授業が成立しにくい、問題行動の増加、学力や体力の低迷など、学校の安定化と教育活動の充実が課題であった。</p> <p>このため、夢育アドバイザーでもある岡山大学の中山准教授の指導を受けながら非認知能力に関する理論・実践研修を校内研修に位置付け、取組を行ってきた。</p> <p>こうした取組の結果、問題行動や学力・体力の改善など、落ち着いた学級・学校づくりに成果を上げている。</p>
6	笠岡市・矢掛町 中学校組合立 小北中学校	三井 亘 (みつい わたる)	79	<p><u>テラトークを活用した英語力の向上</u></p> <p>学習指導要領の改訂に伴う小学校での英語の教科化を受け、中学校での英語教育の高度化が求められることから、生徒の英語を聞く・話す能力の育成が課題であった。</p> <p>このことから、県教委が実施する英語力向上ICT教材活用事業に参加し、全学年の英語の授業でオンライン英語教材「テラトーク」を活用し、生徒の聞く・話す能力を育成する先進的な取組を推進し、県内に公開した。</p> <p>こうした取組の結果、授業改善が進むとともに、GTECにおいて生徒の聞くこと・話すことにおける技能が大きく向上するなどの成果を上げている。</p>